

CSR活動一覧

「5つのハトのお約束」に基づく独自のCSR活動 平和堂は経営理念でもある「5つのハトのお約束」に基づいて、CSRの取り組み項目を整理し、各担当部署を中心に活動を推進しています。

奉仕のハト

ISO26000中核主題 / 人権・消費者課題・コミュニティへの参画

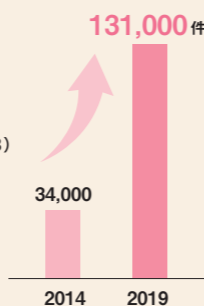


2019年度の取り組み項目

- 平和堂ホーム・サポートサービス (P9)
- お客様の声に基づく企業経営 (P11)
- ノーマライゼーションの推進 (P12)
- お客様満足度向上に向けたICTの活用 (P13)



ホーム・サポートサービス ご依頼件数の推移



今後の課題

- ・地域社会へのより積極的な貢献活動
- ・協働による地域課題の解決
- ・SDGsなど国際イニシアチブ^{※1}への対応

創造のハト

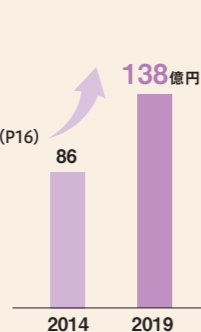
ISO26000中核主題 / 環境・消費者課題・コミュニティへの参画

2019年度の取り組み項目

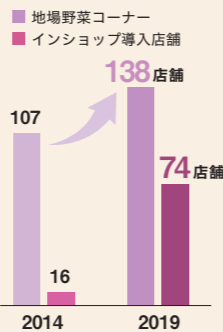
- ライフスタイルの提案 (P10)
- 地産地消の推奨 (P14)
- 近江の魅力発見 (P15)
- 平和堂ストアブランド「E-WA!」の拡大 (P16)
- 環境貢献型商品 (P19)



環境セレクト商品 販売額の推移



「地場野菜コーナー」 取扱い店舗数の推移



今後の課題

- ・地域社会へのより積極的な貢献活動
- ・協働による地域課題の解決

感謝のハト

ISO26000中核主題 / 組織統治・公正な事業慣行・消費者課題

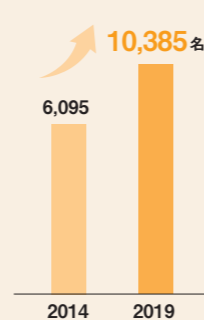


2019年度の取り組み項目

- 安全・安心な商品の提供 (P20)
- 公正・公平な取引の推進 (P22)
- 法令順守のための社員教育 (P22)
- 適切な情報開示 (P23)
- 株主優待制度のご案内 (P23)



株主数の推移



今後の課題

- ・品質管理体制のさらなる充実
- ・バリューチェーンマネジメントの強化^{※2}
- ・よりニーズの高いIR情報の開示
- ・ESG投資^{※3}を意識したエンゲージメント^{※4}

■ 持続可能な開発目標とは

2015年9月に国連本部にて「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。ここで掲げられた17の目標と169のターゲットが「持続可能な開発目標 (SDGs)」です。平和堂は事業活動を通じて世界共通の課題の解決に貢献していきます。



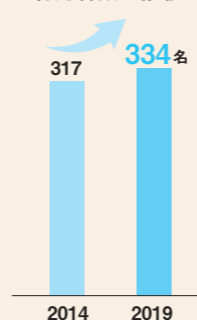
友愛のハト

ISO26000中核主題 / 人権・労働慣行

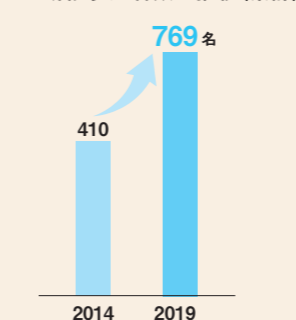
2019年度の取り組み項目

- 社内コミュニケーションの活性化 (P24)
- 新人事制度 (P24)
- 人材育成 (P24)
- 多様な働き方の推進 (P26)
- いきいき働ける職場づくり (P27)
- ピカピカ実現活動 (P28)

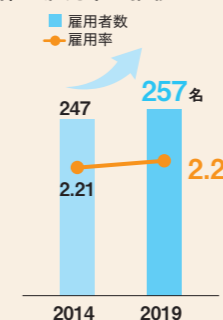
ゆとりライフ制度 利用者数の推移



女性キャリアアップ 研修参加者数の推移 (累計)



障がい者雇用者数・ 雇用率の推移



今後の課題

- ・働きやすく能力を活かせる労働環境の整備
- ・より有効な研修、教育制度の開発
- ・多様な働き方のための支援制度のさらなる充実

平和のハト

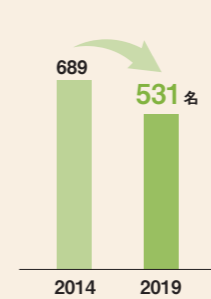
ISO26000中核主題 / 環境・消費者課題・コミュニティへの参画

2019年度の取り組み項目

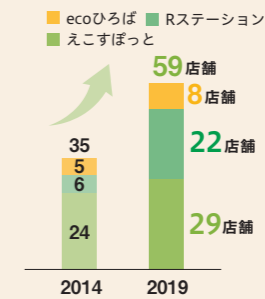
- 地域の健康サポート (P8)
- 食育推進活動 (P30)
- 子ども環境学習「平和堂エコピースクラブ」 (P32)
- 地域コミュニケーションの推進 (P33)
- 子ども食堂への支援 (P36)
- 「平和の森づくり」活動 (P37)
- 低炭素社会の実現 (P37)
- お買い物袋持参運動 (P38)
- 「平和の緑づくり」活動 (P38)
- 循環型社会への貢献 (P39)
- 環境マネジメント (P40)
- 環境会計 (P41)



「平和の森づくり」 参加者数の推移



リサイクルステーション 設置店舗数の推移



今後の課題

- ・長期環境ビジョン策定
- ・CO₂排出量のさらなる削減
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・ゼロ・エミッション^{※5}へのチャレンジ
- ・SDGsなど国際イニシアチブへの対応

※1 「国連グローバル・コンパクト」や「GRI」、「ISO26000」、「SDGs」などの国際的な原則や目標、ガイドライン。

※2 原材料の調達から製品・サービスがお客様に届くまでの一連の活動を適正に管理すること。

※3 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字からなる、企業の成長に欠かせない3つの観点を重視した投資。

※4 情報交換や対話などを通じて、より積極的に関わり合う双方向のコミュニケーション。

※5 廃棄物の削減やリサイクルによって、廃棄物の排出をゼロにする仕組み、取組み。